

<http://kinkifukusha.jp>

# 複写 NEWS

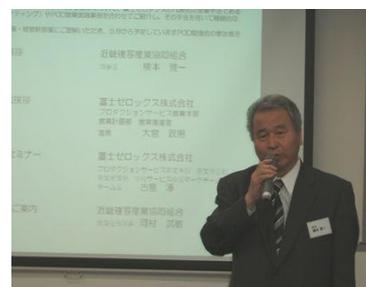
No.229

本紙は組合員様に組合活動を出来るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。是非ともお読みください。

発行:近畿複写産業協同組合  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1丁目5-6  
TEL06-6201-4766・FAX06-6201-4768  
発行責任:楠本雅一  
監修責任:桑田靱比古  
編集制作:小野恵美子  
問い合わせ:knk-fuku@kinkifukusha.jp

## 教育は経営者の未来への意思であり、共に働く仲間への愛情である

2012年2月23日、御堂筋本町の富士ゼロックス Document CORE Osakaにて組合主催のセミナーを開催しました。組合が意図をもって実施するセミナーは久しぶりです。高度情報化社会の到来と共に、組合教育事業は賛助会員様からの提案によるセミナーや、賛助会員様のユーザー主催のセミナーに組合が共催する形式が多くなり、いつのまにか組合教育事業の主体性が見えにくい状況となりました。いうまでもなく組合諸事業のなかで、組合員様の横の関係を強化する福利厚生事業と共に



教育は重要な位置づけです。使い古された言葉で恐縮ですが一ことさら変化の激しい時代に組合員様は身を曝しています。過去に成功した事業への憧憬は、未来を展望するには意味をなしません。否応なく未来の戸を開けることを余儀なくされる厳しい時にこそ、組合は組合員様に次世代の可能性を提示しなければなりません。そして、次世代に在るべき姿を具現化する方策を提供しなければなりません。前者は、昨年度の複写連による全国調査を改めて説明するまでもなく、「POD事業によって多方面の顧客に価値を提供できる業界への進化」という次世代のビジョンです。そして、後者が組合の組合による組合員様のための教育事業です。

本紙において前者を前提として、私が考える「教育」について少し述べさせていただきます。

教育とは、「教養育てること。人を教えて知能をつけること。人間に他から意図をもって働きかけ、望ましい姿に変化させ、価値を実現する活動。」と広辞苑で意味が解説されています。辞書の解説ですから廻りくどい説明ですが、さすが広辞苑です。「教育」という言葉の解説としては的を射ています。その解説を私たちに関係する「企業の教育」に読みかえるとどのようになるのでしょうか。

「企業の教育」とは、「経営者自らあるいは従業員に対して、経営者が自社の継続と成長を意図して働きかける活動。その活動によって、自社の将来の望ましい姿を実現し、自社の価値を高め、自社に関わる人たちの価値を高める。」と読みかえることができます。以下は私なりの教育に対する観想です。

### 1. 従業員あるいは経営者自ら・・・

教育は経営者と従業員が一緒になって受けていただきたい。同時である必要はないが、両者が共通のことを学ぶことにより社内での展開が迅速かつ容易に実施できます。そのうえ、部下と

の共通の話題によってコミュニケーションが活性化し、結果として自社内に「教育（があたりまえの）文化」が根付きます。内容によっては別々に学ぶこともあり、組合では「経営者向け」「営業マネージャー向け」等々、対象者を明確にしたご案内をいたします。

## 2. 経営者が自社の継続と成長を意図して・・・自社の将来の望ましい姿を実現し・・・

経営者であれば誰でも自社の継続と成長を願います。それは「マーケティング」と「イノベーション」の両活動を通じて「顧客の創造」を実現し、達成されるものです。しかし経営者自らが「自社の大志」を描かない限り両活動は考えにくいし、実行しても場当たりのようになります。自社の未来のあるべき姿を想像し、実現可能性を探るために自社のリソースを細部にわたり点検する。その時に、成長戦略のための自社の強みと弱みが見えてきます。強みを伸ばし、弱みを補う一組織力強化の原則は教育によって実現されます。自社の成長のために「何を教育するのか」「誰を教育するのか」などがはっきりとします。自社の将来の望ましい姿を描き、達成へのマイルストーンに教育プログラムが見えるはずで

す。また教育は継続が重要であり、一過性のものではありません。教育すればいいというものでもありません。学んだことを実践するということが重要です。学ぶことと行うことが車の両輪のように働いた時に成果が生まれます。教育と実践の繰返し活動は、自社の文化として根付くまでの徹底性が重要です。そのためには、経営者の未来への意思—成長戦略が重要なポイントです。

## 3. 自社の価値を高め、自社に関わる人たちの価値を高める・・・

教育の成果はすぐに生まれるものではありません。経営者の自社の未来の強い意思と必ず実現するという覚悟と忍耐が必要です。さらにいうならば、共に働く後継者や従業員たち仲間への愛情が必要です。彼らのいまの価値を高めることを願い、さらに未来にわたって彼らの価値を高めることを願う。すなわち教育の本質は、仲間たちへの愛情です。愛情があればこそ、覚悟も忍耐も生まれます。それが結果として、自社の成長へとつながり豊かな企業文化を育みます。

「教育は経営者の未来への意思であり、共に働く仲間への愛情である。」と、私は考えています。

「顧客の創造」(P.F.Drucker)という事業目的を達成するために、顧客接点を増やし、顧客の声に耳を傾け、高質なコミュニケーションができる人を育てなければなりません。設備ありきの世界でもなく、横並び経営も通用しない時代です。経営者の資質がますます求められます。日々進化する技術にも敏感になり、顧客のお役にたつ新しい何かを装備しなければなりません。いままでのやり方では通じない。新たに何かをしなければならぬ。そんなことは分かっている人も明確な解をもっている人は僅かです。行く末定まらぬ混迷の時代にあって、生業を同じくする人が集まる協同組合の存在価値とは何でしょうか。組合の運営責任者としていま言えること。それは、未来の業界の仮説を提示することであり、その実現に向けて具体的活動をすることです。そのひとつとして教育事業があります。

近畿複写産業協同組合は、2012年度事業において、次世代の業界の創造を目指して教育事業を実施して参ります。組合の教育担当の河村理事と共に詳細を詰めています。あらためてご案内をいたしますので積極的にご参加賜りますようよろしくお願いいたします。

理事長 楠本雅一

## 教育事業・始動!!

初回は「POD営業力強化における富士ゼロックスのお役立ち。」

去る2月23日、近畿複写産業協同組合の事業の柱の一つである教育事業（楠本理事長・河村理事担当）が富士ゼロックス㈱様の協力のもと愈々スタートいたしました。

今回のセミナーは、5月から予定している「POD勉強会」のオリエンテーションでもあります。そしてこの「POD勉強会」の目的は『PODビジネスを、今後の複写業界を支える大きな事業の柱として成長させるために、富士ゼロックス㈱の代表的な営業手法であるCVM（Customer Value Marketing Management＝顧客価値創造型営業＝一般的な営業では、自社が提供できる商品・サービスにお客さまを当てはめようとして活動するが、CVMのもとでは商品・サービスに関係なく、お客さまのニーズをそのまま理解することからはじめる。その上で、お客さまの課題に合わせて、自社の商品・サービスとさまざまなノウハウを提案して行く。【富士ゼロックス総合研究所「茂一郎が行く」より抜粋】）を学び、そしてPOD営業の実践事例の研究等を通して、今までと違う市場を開拓し、新たなサービスを創造して行く。又複写業にとってのPODサービスにおける強みとは、或いは弱みとは何か？複写業の強みを活かしたサービスの可能性とは何か？を具体的に学び修得する。』ことにあります。どうか次回の「POD勉強会」には奮ってご参加ください。

初回セミナーの資料をご希望の方は組合までご連絡下さい。

POD事業を推進する  
富士ゼロックス㈱プロダクション  
サービス営業本部の 大宮 政男様

講師を務めて下さった  
富士ゼロックス㈱プロダクション  
サービス営業本部の 古屋 淳様



熱心に聴講する31名の会員各位



参加のお礼そして富士ゼロックス㈱様  
へのお礼と次回セミナーの説明をする  
河村理事



# 組 合 日 誌

## ☆第524回理事会開催☆

- 日 時：平成24年1月12日（木） 16：00～17：00  
理事会場所：ラグナヴェールプレミア  
出 席：楠本・福味・桑田・巽・松本・河村・日笠・関・佐々木・藤田・田中・小野事務局
1. 報告事項（各担当理事）
    - 1-1. 第523回理事会議事録の報告（松本理事・巽副理事長）
    - 1-2. Web事業について現況報告（日笠理事）
    - 1-3. 賛助会員担当者変更の件（小野事務局）＜資料1＞
    - 1-4. 複写ニュースNo. 227発行（桑田副理事長）
  2. 協議事項（各担当理事）
    - 2-1. 新年互礼会について（小野事務局）＜資料2＞
    - 2-2. 複写ニュース新年互礼会特集号（桑田副理事長）
    - 2-3. 教育事業について（河村理事）
    - 2-4. 理研興業㈱退会について（桑田副理事長）
  3. 11月度会計報告（小野事務局）＜資料3＞

## ☆三役会開催☆

- 日 時：平成24年2月7日（木） 15：00～17：00  
理事会場所：組合会議室  
出 席：楠本・福味・桑田・巽・満田・小野事務局
1. 賦課金について
  2. 予算について
  3. 定款・規約再度各自にて熟読する
  4. 2011年度事業レビューについて

## ☆第525回理事会開催☆

- 日 時：平成24年2月13日（木） 16：00～18：00  
理事会場所：組合会議室  
出 席：楠本・福味・桑田・巽・満田・山脇・松本・河村・関・佐々木・藤田・藤島・小野事務局
1. 報告事項（各担当理事）
    - 1-1. 第524回理事会議事録の報告（松本理事・巽副理事長）
    - 1-2. Web事業について現況報告（日笠理事）＜資料1＞
    - 1-3. 教育事業について（河村理事）＜資料2＞
    - 1-4. 複写ニュースNo. 228新年互礼会特集号発行（桑田副理事長）
    - 1-5. 新規加入組員について（福味副理事長）  
有限会社南山城複写センター 会長 高辻 宏  
京都府宇治市横島町吹前123-4 0774-22-6700
    - 1-6. 神戸地区会員勧誘について（佐々木理事・楠本理事長）
  2. 協議事項（各担当理事）
    - 2-1. 2011年度事業のレビュー（楠本理事長）
    - 2-2. 定款・規約見直しについて（楠本理事長）
    - 2-3. 総会までのスケジュール（小野事務局）＜資料3＞
  3. 12月度会計報告（小野事務局）＜資料4＞

## 組合日誌 平成24年1月～平成24年2月末までの行事

☆1月12日 平成23年度新年互礼会をラグナヴェール プレミアにて開催した。	
☆2月 7日 三役会が組合会議室にて行われた	P-4
☆2月13日 第524回理事会が組合会議室にて行われた	P-4
☆2月23日 組合主催「PODの営業力強化を目的とした」継続セミナーへの企画について」セミナー開催した。	P-4

## 編集後記

神戸・灘校の名物教師、御年98歳にして現役の国語の先生。その先生曰く「学ぶことは生きること」、「すぐ役に立つことは、すぐに役立たなくなる」、「自分でみつけたことは、一生の財産になります」。このようなことを中学生、高校生に教えているそうです。さあ、会員の皆様方もセミナーに参加し、大いに学ぼうではありませんか。さて、小生「六十〇才の手習い」、それでも遅くないでしょう。（記・桑田）

今年度最後の複写ニュースとなりました。  
次年度も少しでも組合の事を知って頂きたいと頑張っていきたいと思っています。  
別れ・出会いの季節です。重いコートを脱いで外へ飛び出して行きましょう～  
春はもうすぐそこまで来ています。（記・小野）

